

## 総合リハビリテーションセンター病院部門の役割について

- 総合リハビリテーションセンターの病院部門は、リハビリテーションセンター医療の県域における中核施設としての役割を積極的に果たすため、民間病院では対応が困難な「高次脳機能障害者」、「脊髄損傷者」、「難病患者」に対する政策的医療の充実を図っている。
- また、超高齢社会を迎え、回復期リハビリテーションに対するニーズが今後ますます増加することが予想されていることから、民間病院とともにそのニーズに対応しながら、民間病院では対応が難しい課題を抱える患者の方々の積極的な受け入れに努め、公的病院としての役割を果たしていく。

### 高次脳機能障害者

- ・ センター内に設置している「高次脳機能障害者支援センター」において、高次脳機能障害者のための支援拠点として相談内容に応じた助言や情報提供を行うとともに、センター内の各部門が連携し、相談、訓練、就労支援を進めている。  
こうした特性を生かし、専門外来枠の拡大などに取り組む。

#### 【参考】

- ※週に2日、高次脳機能障害専門外来を設置。
- ※平成30年度の新規外来患者数は85人。

### 脊髄損傷者

- ・ 民間病院では対応が困難な重度の脊髄損傷患者を積極的に受け入れ、残された機能を最大限に生かした適切なリハビリテーションの提供に取り組む。

#### 【参考】脊髄損傷者の常時受入患者数

	H29 年度実績	H30 年度実績	H30 年度目標
常時受入患者数	5.5 人	11.3 人	6.0 人

### 難病患者

- ・ 脳深部刺激療法（DBS）などの先進医療の導入を図り、パーキンソン病などの治療に取り組んでいる。今後も、高度先進医療の導入や対応難病の拡大に取り組むなど、一層の充実を図る。

#### 【参考】難病患者の常時受入患者数

	H29 年度実績	H30 年度実績	H30 年度目標
常時受入患者数	18.65 人	19.6 人	19.4 人

- ※平成27年度から脳深部刺激療法（DBS）による手術を導入。  
これまで55件の手術を実施。

## 回復期リハビリテーション

- ・ 県央保健医療圏（鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町）を中心としたエリアにおいて、民間病院とともに地域医療の一翼を担っている。  
回復期リハビリテーションを通じて経営改善を図りつつ、民間病院では処遇が困難な患者の受入れにも努める。

## 【参考】

○病床機能報告による病床数と必要病床数の比較（県地域保健医療計画）

〈回復期〉

平成 29 年度病床機能報告 4, 830 床…①

令和 7 年必要病床数推計 16, 717 床…②

②－①＝▲ 11, 887 床

○県央区域の回復期病床数の状況

平成 31 年 4 月現在病床数 260 床…①

令和 7 年必要病床数推計 1, 120 床…②

②－①＝ ▲ 860 床